

人工授精（実習・豚）	受講番号		氏 名	
------------	------	--	-----	--

- 1 用手法による豚精液の採取に関し、①～⑤の文章は雄豚が擬牝台に乗駕した後の作業について述べたものである。
（1）①～⑤について、《 》内の語句のうち正しい方に○を付けなさい。（配点：4 点×5＝2 0 点）
① 陰茎周囲をお湯で洗淨、《アルコール綿・タオル》で清拭する。
② 最初に少量射出される《希薄・濃厚》な精液は捨て、その後に射出される精液を全量採取する。
③ 皮膚越しに陰茎をしごき、《尿溜まり尿・膠様物》を排出させる。
④ 陰茎と手指を滅菌《精製水・生理食塩液》で洗淨する。
⑤ 陰茎の《根本・らせん状部》を軽く握った掌の中に誘導し、陰茎が十分に勃起したら、回転しない程度に力を入れる。

（2）正しい作業手順となるよう、①～⑤を並び替えて（ ）内に記入しなさい。（配点：5 点）
乗駕→（ ）→（ ）→（ ）→（ ）→（ ）→採取終了
- 2 豚精液の液状保存に関する以下の文章について、内容が正しいものに○、正しくないものに×を（ ）内に記入しなさい。
（配点：5 点×5＝2 5 点）
・精液の希釈液の例として、モデナ液が挙げられる。（ ）
・精液を希釈する際には、希釈ショックを起こさないよう、精液を希釈液にゆっくりと加える。（ ）
・希釈された液状精液は 15～17℃で保存する。（ ）
・希釈された液状精液を使用する際には、精液検査を行い、50+++以上の精液であることを確認する。（ ）
・保存した精子は仮死状態にあるので、37℃で、15～30 分間恒温水槽で培養した後に活力検査を行う。（ ）
- 3 豚精液の凍結保存に関する以下の文章について、《 》内の語句のうち正しい方に○を付けなさい。
（配点：5 点×5＝2 5 点）
・近年における豚凍結精液の製造は、簡便性および衛生面から《ペレット法・ストロー法》が主に採用されている。
・凍結精液の作成には、《精液全量・精子濃厚部のみ》を採取して用いる。
・凍結保存液には、《卵黄・卵白》やグリセリンが用いられている。
・15℃に冷却した希釈精液は、《1.5 時間かけて・素早く》4～5℃に冷却する。
・凍結精液は融解後、《2 時間程度培養し・速やかに》人工授精に用いる。
- 4 豚の授精（精液の注入）に関する以下の設問に答えなさい。
（1）次の文章について、内容が正しいものに○、正しくないものに×を（ ）内に記入しなさい。（配点：4 点×5＝2 0 点）
・カテーテルを挿入する際は、カテーテルを下向きにして膣内に挿入し、次に、水平にして挿入する。（ ）
・スパイラル式カテーテルは、反時計回りにねじり挿入する。（ ）
・スポンジ式カテーテルは、子宮頸管入口まで挿入した後、精液を注入する。（ ）
・精液は 30 秒程度の時間をかけて注入する。（ ）
・精液の注入後は 1～2 分間はカテーテルを挿入した状態で維持する。（ ）

（2）深部注入器を用いた人工授精で、カテーテルを正しく挿入できた場合に、内側カテーテルの先端が到達する部位はどこか。該当する部位を図 1 から 2 つ選び、その名称を直接○で囲みなさい。

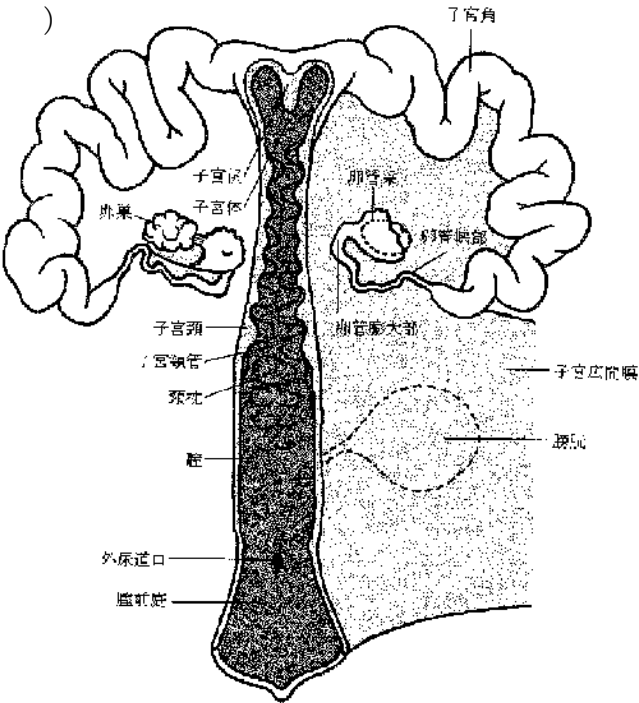


図 1 雌豚の生殖器